

政治経済学川

矢内 勇生

授業の目的

- 経済格差について政治経済学的に考える
 - ▶ 経済格差の現状を理解する
 - ▶ 経済格差を生み出す政治的要因を検討する力をつける
 - ▶ 経済格差が政治に及ぼす影響を検討する力を つける

授業の内容

- 経済格差をどうやって測るか
- 党派性は格差に影響するか
- 国内の格差と国家間の格差
- 貧困問題
- etc. (詳細はウェブ上のシラバスを参照)

教科書·参考書

• 教科書: なし

参考書:シラバス参照

シラバスの「必読」文献は必ず読むこと(詳細は後述)

シラバスと予習

- シラバス:ウェブ上の詳細版シラバス(うりぼーネットのものではない)
 - 授業のウェブページに掲載
 - シラバスは変更する場合があるので注意
- シラバスで該当回の「必読」文献に指定されているものを予習する
- シラバスにハイパーリンクがある文献は、学内ネット ワーク接続でダウンロード可能

授業用のウェブページ

www2.kobe-u.ac.jp/~yyanai/jp/classes/pe2/

Or

www.yukiyanai.com →[授業]→[政治経済学II]

成績評価の方法

• 授業への参加: 20%

• 期末試験:80%

- ・期末試験は論述式
- 持ち込みは電子・通信機器以外すべて可
- ★受講生の人数によっては変更する可能性もある

オフィスアワー

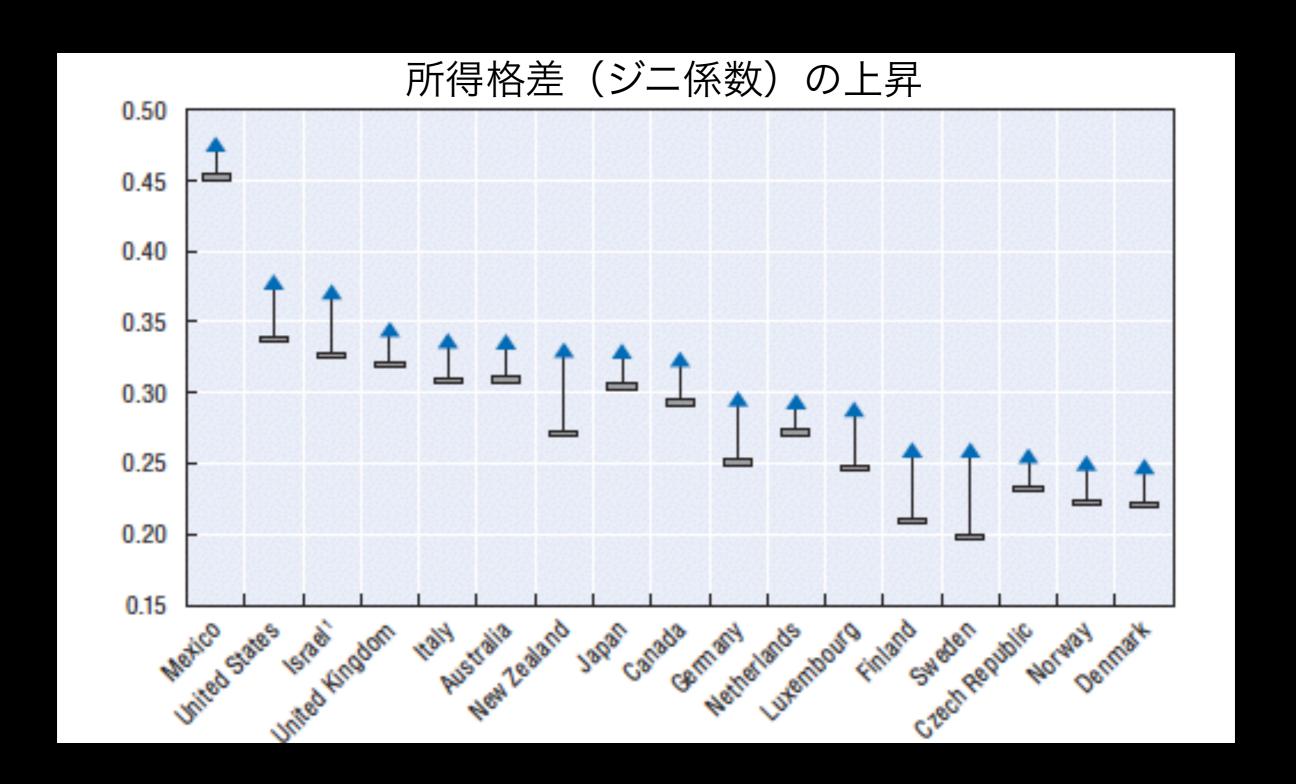
• 場所:第四学舎404研究室

• 日時:月曜と火曜 12時から13時まで

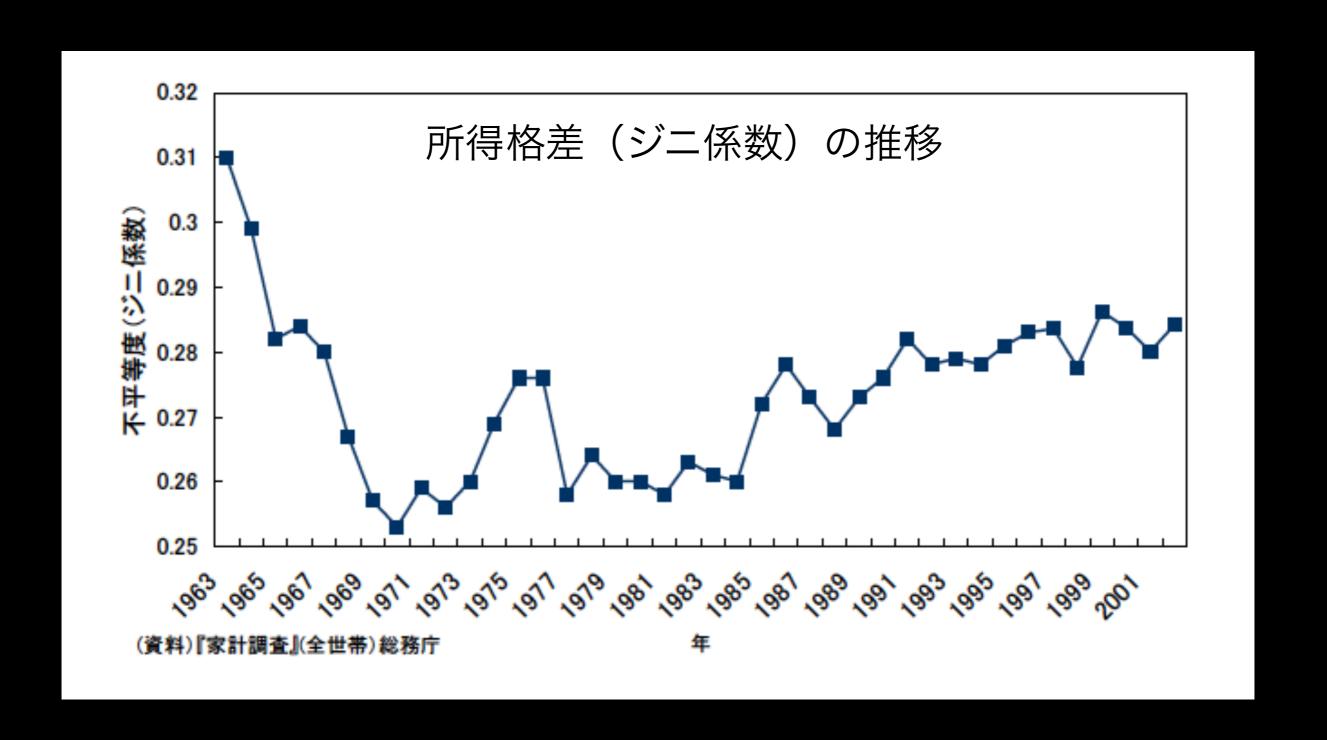
★オフィスアワーに来るときは<u>連絡不要</u>

- その他の日時はメールで予約
- 授業中の質問は特に歓迎

所得格差の拡大, 1980s-2000s



日本の場合



出典:大竹文雄. 2003. 「所得格差の拡大はあったのか」p. 3

格差の何が問題か?

- 所得格差
 - ▶ 競争の帰結?
 - ・ 努力の結果?
 - ・能力の反映?
 - 単なる運?
 - 親のおかげ?

格差は存在するべき!(?)

- 格差:競争へのモチベーション
 - ▶ 格差を認めないのは共産主義(?)
 - 共産主義は・・・
 - 競争がない社会の帰結は・・・
- 富の集中:効率のよい配分、適材適所
 - 金の使い方がうまいものが金を持つべき

問題点

- 議論の (暗黙の) 前提
 - ▶ 公平な競争が行われている:本当?
 - 富裕層が金を使うと社会全体が潤う:本当?
 - ▶ その他の前提は?
- 経験的な証拠
 - ▶ 競争が結果を改善する?
 - ▶ 富の集中が社会をより幸福にする?

格差は結果か?

- 格差が生み出す新たな問題
 - ▶ 貧しい者と豊かな者は政治的に平等か?
 - デモクラシーの原則:一人一票
 - これで十分?
 - ・ 格差の蓄積(相続)
 - デモクラシーの崩壊?

誰と誰の格差か?

- 国家内の格差
 - 資産家と労働者
 - ・若者と高齢者
 - 男と女とLGBT)

- 国家間の格差
 - 先進国、発展途上国、 最貧困
 - ▶ 地域間格差

- グローバルな格差
 - ・金融家とその他大勢

授業用のウェブページ

www2.kobe-u.ac.jp/~yyanai/jp/classes/pe2/

Or

www.yukiyanai.com →[授業]→[政治経済学II]

来週の内容

公平性

- Questions:
 - ▶ 何が「公平」なのか?
 - ・公平な不平等、公平な格差はあり得るか?